

S D G s 未来都市の推進

- 令和6年度の実績について
- 令和7年度の予定について

令和6年度の取組実績について

1 水俣環境アカデミアにおける取組

水俣環境アカデミアでは、地域内外の大学、研究機関、事業者等と連携し、地域課題の解決や地域社会において活躍する人材の育成を推進し、「教育・研究活動の推進」、「まちづくりの推進」、「しごとづくりの推進」に取り組んでいる。

●SDGs未来都市フェスタ（8月24日（土）実施）

環境・経済・社会の3側面を基軸とし、地元企業、大学、研究機関等によるSDGsに関連したブースを水俣環境アカデミアに設置し、来館者が楽しみながらSDGsの取組に触れることのできるセミナーや体験型のイベントを実施。

<参加者数・参加団体数等>

参加者：約110名（水俣高校ボランティアスタッフ：14名）

参加団体：18団体（体験型：12団体、展示型：6団体）



▲体験型ブースの様子

●市民公開講座

人材育成事業として、各大学及び研究者等と連携し、持続可能な地域社会の形成に向けて、住民の暮らしに身近で役立つようなテーマでの講座を開催。

- ・第1回 令和6年4月21日（日） ※参加者：10人
「親子で学ぶ半導体講座～そうだったのか半導体！」
- ・第2回 令和6年11月30日（土）（国水研との共催） ※参加者：59人
「市民科学で挑む～世界を旅するウスバキトンボの謎～」
- ・第3回 令和7年2月1日（土） ※参加者：39人
「江戸時代 水俣鉄砲隊の役割とそのルーツ —「天下泰平」の実現と水俣—」
- ・第4回 令和7年2月15日（土） ※参加者：26人
「これは知らなかった！！環境問題ア・ラ・カルト」

●木育ワークショップ（水俣高校電気建築システム科建築コース）

産学官が連携し、地域産材をテーマとした知識と木材加工技術の習得を目的とし、持続可能な地域づくりを担う人材を育成するための事業を実施

<講義>令和6年4月12日（金）

講師：合同会社 Wood one 緒方幹雄氏

内容：水俣の森林保全、地域産材を取り巻く現状や課題について

<SDGs未来都市フェスタへのブース出展>令和6年8月24日（土）

内容：水俣地区建具組合による製作技術指導の下、小学生向けの木工製品づくりブースを出展

<製作実習及び寄贈>令和6年4月～11月

内容：熊本県建築士会 水俣芦北支部青年部 吉永氏（株式会社KAYアーキテツ）による木製品の設計・デザインの講話を受講し、水俣地区建具組合による製作技術指導の下、販売台を制作し、道の駅みなまた「ミナマータ」R新水俣駅店」へ寄贈



▲販売台の制作・寄贈時の様子

●プログラミングワークショップ

プログラミング教育を通じて、自ら考え自ら行動するための論理的思考力、問題解決能力を習得し、将来、情報技術を環境保全・環境負荷軽減等の社会問題の解決に活用できる人材を育成するための事業を実施

<メンター教育>令和6年6月～9月

内容：講師による大人向け、高校生向けのメンター教育及び高校生同士でのメンター教育を実施

<ワークショップ>令和6年8月～令和7年1月

・第1回 令和6年 8月 2日（金）

※参加者：11人、水俣高校生メンター：20人

・第2回 令和6年10月19日（土）

※参加者：12人、水俣高校生メンター・水俣高校教諭：15人

- ・第3回 令和6年12月21日（土）
※参加者：17人、水俣高校生メンター：17人
- ・第4回 令和7年 1月18日（土）
※参加者：6人、水俣高校生メンター・水俣高校教諭：6人

●高大連携未来塾

次世代を担う若い世代が、国内外の様々な環境問題等に触れることにより、環境負荷を身近な問題としてとらえ、グローバルな視点で環境負荷を意識し、低減を実践できる人材を育成する事業を実施

<水俣高校×慶應義塾大学との連携>

慶應義塾大学と水俣高校のSDGsをテーマとしたワークショップ

- ・第1回 令和6年8月6日（火）
慶應義塾大学とアジア地域大学の水俣フィールドワーク及び「SDGs未来都市フェスタ」出展ブースのリハーサル
- ・第2回 令和6年8月24日（土）
「SDGs未来都市フェスタ」への出展
水俣市内の様々な場所から採取した水の水質（水温、pH、電気伝導率）を測定し、そのデータを色として変換し、イラストに色を付けて表現
- ・第3回 令和6年11月12日（火）
- ・第4回 令和7年 1月14日（火）
- ・第5回 令和7年 2月27日（木）
次年度の取組「水俣フィールドワーク」及び「SDGs未来都市フェスタ」出展ブースに関する話し合い



▲水俣でのフィールドワークの様子・作成したデジタルアート

<水俣高校×日越大学（ベトナム）との連携>

令和6年11月29日（金）

- ・水俣高校2年生2名が日越大学の日本語の授業にオンライン参加する形式で実施し、「総合的な探求の時間」でテーマとしている「ベトナムと日本の比較文化」についてインタビューを行った

●大学、研究機関等研修受入

水俣環境アカデミアとネットワークのある大学、研究機関等からの研修の受入れ

<慶應義塾大学>

8月4日(日)～7日(水)

慶応大学及びアジア地域大学による水俣現地フィールドワーク

<熊本県立大学>

8月18日(日)～20日(火)

もやいすとシニア(グローバル)育成プログラム水俣英語研修

11月16日(土)

環境共生学部居住環境学専攻の水俣フィールドワーク

<長崎県立大学>

9月25日(水)～26日(木)

地域創造学部公共政策学科の水俣フィールドワーク

<地球環境戦略研究機関(IGES)>

9月11日(水)～13日(金)

SDGsグローバル人材育成プログラム

●グローバル人材育成事業 ※令和6年度新規事業

スタンフォード大学の国際異文化理解プログラム専任講師による、水俣高校生徒への英語のオンライン授業や参加者によるディスカッション、プレゼンテーション等を通じて、グローバルに、また、グローバルに活躍できる人材を育成する事業

- ・令和6年9月21日(土) 開講式
- ・令和6年9月～令和7年2月 オンライン講義
- ・令和7年3月 8日(土) 最終プレゼンテーション
- ・令和7年3月15日(土) 閉講式

※最終成績上位2名が令和7年4月にスタンフォード大学で開催される表彰式に参加し、プログラムの感想及び今後の展望について英語でプレゼンを行う予定



▲開講式・閉講式での修了証授与の様子

●プログラミング人材育成事業（令和6年度新規事業） ※令和6年度新規事業

総務省の「地域活性化起業人」（企業人材派遣制度）を活用してプログラミング教育の専門家を配置し、小中学校から水俣高校へと連続した学びの体制を構築、半導体関連分野で活躍できる人材を育成する事業

- ・令和6年5月 1日（水） 「水俣市地域活性化起業人派遣に関する協定」を締結
- ・令和6年7月12日（金） 「保護者向け半導体講習会」を開催（市P連との共催）
- ・令和6年8月 9日（金） 「ワクワク!!プログラミングクエスト」を開催
- ・令和6年8月 7日（水） 「半導体関連産業及びプログラミングに関する研修会」
22日（木） （7日：小学校教諭、22日中学校教諭対象）を開催
- ・令和7年1月26日（日） 初心者向けロボコン「JRC」に出場
- ・令和6年11月～3月 技術教科の学習活動例を作成・配布



▲ワクワク!!プログラミングクエスト（左）とJRC（右）の様子

2 水俣市SDGs取組事例集「私たちのSDGs inみなまた」の改訂

令和4年3月に作成した標記事例集を改訂。

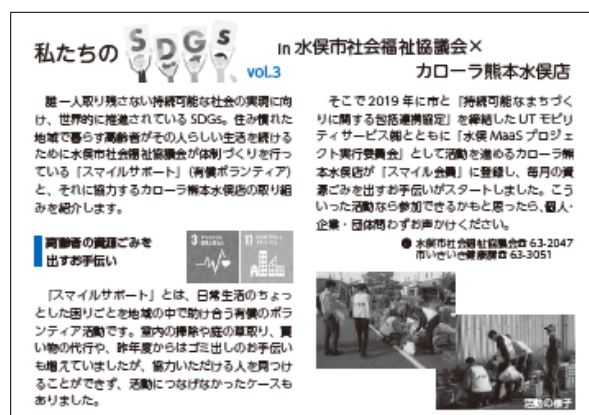
改訂した事例集（冊子）は、市内各施設のほか、市内小中学校や水俣高校などに配付。

また、英語版の事例集も作成し、日本語版とあわせてHPへ掲載（英語版はHPへの掲載のみ）。



3 市報への掲載

市内で行われているSDGsに関する取組について市報で紹介。令和6年度は、本市社会福祉協議会とカローラ熊本水俣店が協力して行う取組を掲載。



▲広報みなまた7月号

令和7年度の主な取組予定について

1 第3期水俣市SDGs未来都市計画の策定

現在、策定している「第2期水俣市SDGs未来都市計画」は令和5年度から令和7年度までの3か年の計画であり、令和8年度から令和10年度までの第3期計画を策定する必要があるため、令和7年度中に策定作業を行う。

2 普及啓発の取組

●SDGs未来都市みなまたオリジナルロゴマーク看板設置

SDGs未来都市として、本市の魅力や取組をさらに発信していくため令和4年度に作成した、SDGs未来都市みなまたオリジナルロゴマークの看板を新庁舎敷地内へ設置する。

●SDGs未来都市みなまたオリジナルロゴマークグッズ制作

水俣市公式LINEの登録者増の取組として、LINEのショップカード機能を活用したサービスを開始予定である。

本市が主催するイベント等に参加することでポイントが付与され、一定のポイントがたまるとプレゼントへの交換が可能となる。

そのプレゼントの一例として、SDGs未来都市みなまたオリジナルロゴマークグッズを予定している（ピンバッジ、アクリルスタンド、エコバック等を想定）。

3 水俣環境アカデミアにおける取組

●海外大学等連携推進事業

平成29年2月に水俣市と国立台北科技大学が締結した覚書に基づく連携を活かし、大学から教員を招へいし、水俣高校生を対象に世界最先端の台湾における半導体産業や今後の動向などについて講義いただく。

●グローバル人材育成事業

令和6年度に実施した同事業の最終成績上位2名が令和7年4月にスタンフォード大学で開催される表彰式に参加し、プログラムの感想及び今後の展望について英語でプレゼンを行う予定である。

令和7年度においても、スタンフォード大学の国際異文化理解プログラム専任講師による、水俣高校生への英語のオンライン授業や参加者によるディスカッション、プレゼンテーション等を実施予定である。

●プログラミング人材育成事業

令和7年度も「地域活性化起業人」（企業人材派遣制度）を活用してプログラミング教育の専門家を配置し、プログラミングセミナーや、小中学校における授業のサポートを行うほか、ロボコンの独自大会の実施やWRO（国際的ロボコン）出場へのサポートなどを行う。